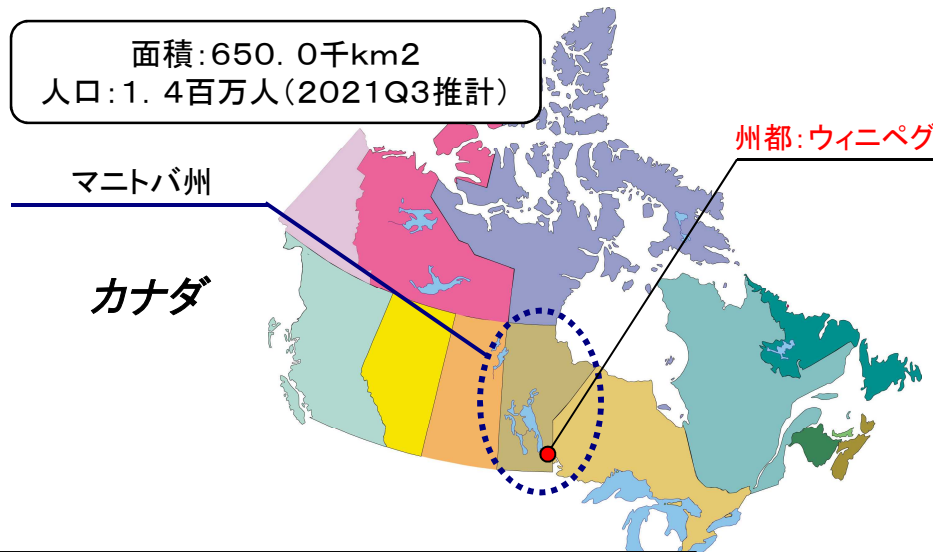


マニトバ州概観

令和3年10月現在
在カルガリー総領事館

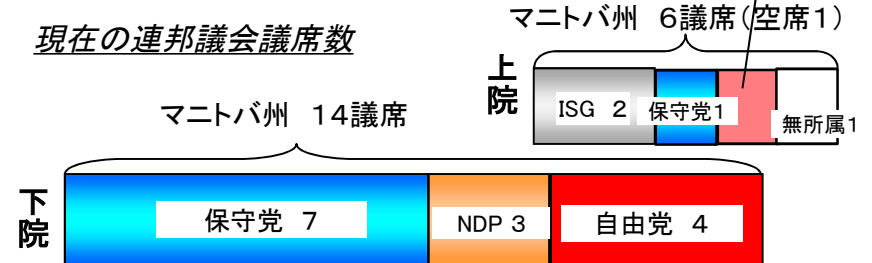
面積: 650.0千km²
人口: 1.4百万人(2021Q3推計)



マニトバ州政治情勢

副総督: ジャニス・フィルモン(2015年6月就任) (Progressive Senators Group) PSG 1
州首相: ケヴィン・ゴエツツェン首相(暫定)(進歩保守党)
(2021年9月1日就任)

現在の連邦議会議席数



現在の州議会議席数(総数57)



日・マニトバ州関係

1. 在留邦人数

527人(2019年10月1日現在、在留届ベース。)

2. 対日貿易(2020年)

対日輸出額: 1.0十億加ドル(カナダ対日輸出の8.3%)

主要品目: 豚肉加工品、カノーラ、小麦、大麦

対日輸入額: 100.6百万加ドル(カナダ対日輸入の1.4%)

主要品目: 建設用機器、作業用トラック、ディーゼルエンジン

3. 姉妹都市提携

東京都世田谷区とウィニペグ(1970年10月5日姉妹提携)。

2020年に50周年を迎えた。

4. 日加公館

日本公館(実館)なし。(在カルガリー総管轄。1992年まで、ウィニペグに総領事館あり。)

在ウィニペグ日本国名誉総領事。

マニトバ州の駐日事務所はない。

マニトバ州経済情勢

経済指標:

実質GDP: 60.2億加ドル(加全体の3.2%)(2020年)

実質GDP成長率: ▲4.8%(加全体: ▲5.4%)(2020年)

失業率: 5.7%(加全体: 7.1%)(2021年8月)

主要産業: 農業、電力(水力)、鉱業

農業: 穀物(小麦)及び畜産を中心とする農業が伝統的経済基盤。CGC(カナダ穀物委員会)、CIGI(カナダ国際穀物研究所)、CCC(カナダ菜種委員会)、大手穀物メジャー等がウィニペグ市に本部を置く。伊藤忠商事が出資している豚肉加工企業ハイライフ社は州経済に重要な貢献。

水力発電: 豊富な水資源を利用し、州電力の9割以上を水力発電でまかなっている。州営電力会社マニトバハイドロは、他州や米国にエネルギーを販売。

鉱業: 亜鉛、ニッケル、銀、銅、金を産出。